

# 社内木鶏感想用紙

2025 年 2 月 19 日

2 月号

名前

タイトル: 明治に学ぶ二〇五〇年の日本をひらく道

## ①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

日本には古来、他のどの国にもない誇るべき美質があった。

冒頭に書かれた言葉に大きく頷くことから読み始めました。古くは「後漢書」に「邪馬台国には盗みがなく、嘘をつかない正直な人が住んでいる」と記されているようですが、昨今のいわゆる「特殊詐欺」の例を見るまでもなく、「正直」はどこに行ったのかと思わせる事象の多いこと。自己を正当化する論理がぶつかり合う限り、争いはなくなる。今こそ日本の美風、惻隠、もののあわれ、誠実、礼節といった「自分の内側に思いを向ける」ことが大事であると、あらためて感じました。読んでいて「陰徳あれば陽報あり」という言葉を思い出しました。

私くらいの年代になると「誰をどう喜ばせるか」を考え、時間や金銭的な応援をと考えがちですが、我々日本人がもともと持っていた(はずの)美質に目覚め、誰かを相手に権利を勝ち取るような戦闘的な考え方ではなく、日頃から書物を手元に置いて目を通す暮らしを取り戻し、いわゆる「在り方」を振り返りながら歩を進めていく自分でありたいと、意を強く持ちました。

## ②仲間の発表を聞いて気付いたこと

発表を聞いて、改めて自分の考えを整理することができた。特に、美質という言葉が、単なる徳ではなく、生き方の指針として、現代社会にどう活かせるかを考えるきっかけになった。

936 号の「美質」が、改めて自分の考えを整理することができた。特に、美質という言葉が、単なる徳ではなく、生き方の指針として、現代社会にどう活かせるかを考えるきっかけになった。

美質という言葉が、単なる徳ではなく、生き方の指針として、現代社会にどう活かせるかを考えるきっかけになった。

# 社内木鶏感想用紙

2025 年 2 月 15 日

2 月号

名前

タイトル: 明治時代に学ぶ2050年の日本を開く道

## ①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

現在、日本という国は国内からも海外からの評価をみても決して誇れる国だとは感じられないと自分自身は思っています。 今回の藤原正彦さんの提言を読みましたら25年後の2050年の日本を開く道は明治時代に学ぶとあり切り口として以外性を感じました。

古くから日本という国は、道徳の面で世界に誇れてるのに現在は薄れており子ども達が小中学校の時に受験ばかり重要視して道徳の教育が自分達の時代より少なくなってきたのが原因ではないかと思います。 明治時代では、三つの特徴があったと言われています。一つ目は国家と自己の一体感です。国イコール自分であるという精神と考えを持つ必要があると言われています。二つ目は新しいものを取り入れ日本を強くしていくという考え方です。日本はまだまだ成長していける力がある国であり国民だと思えます。

三つ目は、日本国は地震や台風、洪水など住むのに条件の悪い国ですがお互いに助け合い共に試練を乗り越えて生きてきたと言われております。 少数意見になるかもしれませんがこの提言である日本を凜とした国にする為に、昔の良い文化をもう一度考え直して取り入れていくべきだと思いました。

## ②仲間の発表を聞いて気付いたこと


# 社内木鶏感想用紙

年 月 日

月号

名前

タイトル: 2050年の日本を考える

## ①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

25年後の日本を考える。とても難しいです。

今現在ですら将来には不安要素はたくさんあるのに良くなっているとは思えません。

日本を蘇らせるために人間の心を高め、人間の徳性を養う教育。すなわち人間学の教育が要になる

との事。確かに今は知識や技能を賢くもっている子達は多いけれど頭でっかちで想像力のかけている子に

なっている気がします。だから人間学をどんどん学んでほしい。

ですが人間学を学び育てていた子が社会にでた時、この大事な人材をつぶす人がたくさんいます。

子供の教育も大切ですが、私も含むすでに大人の人達、そして政治、会社、学校、家庭で「長」たる人への

教育も必要ではないでしょうか。

先日、栗山英樹さんの10か月の密着番組がありました。人を育てる為の組織改革をされていたのですが

とにかくスタッフや選手、関係者の人達に話を聞きにいてその人が何を思うのか理解しようと努力

されていて、その人の可能性を誰がなんと言おうと信じていました。大谷君の二刀流の時もそうだったように

二刀流を批判されても大谷君の可能性を信じていました。

栗山さんはトップの人ですが誰よりも動いていました。この背中をみて人育つのでしょうか。

日本のよいところ。清潔さや親切さ、勤勉、礼儀正しさなどたくさんあったはずですが。その心を忘れないように

人を育てる事が大切。自分も年を重ねても学ぶ事を怠らない事が大切という事を考える事ができました。